

令和5年度第2回函館市魚類等養殖推進協議会に係る意見について

- 議 事 1 令和6年度（2024年度）以降の養殖事業の取り組み
- (1) キングサーモン養殖に関する取り組み
 - (2) コンブ養殖に関する取り組み

委員名	ご意見
<p>吉野委員 (函館地域産業 振興財団)</p>	<p>キングサーモンとコンブ共に着実に成果があがっていると認識しています。令和6年度の計画についてもこれまでの成果をさらに発展させるものとなっており、期待しています。</p> <p>特にコンブの成熟誘導技術は気候変動による母藻不足を補うものとして早期の実用化を期待するとともに、人工母藻による種苗生産を行う場合の種苗生産施設の在り方について検討を始める必要があると考えております。</p>
<p>嵯峨委員 (函館国際水産・ 海洋都市推進機構)</p>	<p>これまで、キングサーモン養殖およびコンブ養殖の両分野において、細かいところではいくつかの問題点を抱えながらも、それらを徐々に解決しつつ、概ね順調に推移していると考えられる。</p> <p>今回、提示された新年度（令和6年度）のキングサーモン養殖およびコンブ養殖に関する取り組み指針も概ね妥当なものと思われる。</p> <p>この指針に基づき、新年度もキングサーモン養殖およびコンブ養殖の両分野において力強く事業開発されることを望みます。</p>